基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策１　文化芸術活動の促進・支援 １　市民の主体的な文化芸術活動の充実 (1)文化芸術活動団体などと連携を図り，市民の文化芸術活動に関する情報の収集や発信に努めるとともに，各団体による文化芸術活動の支援に努めます。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	施設の管理運営等（文化芸術関係）	担当課	生涯学習文化課・文化財課

事業概要（目的等）

市民の文化芸術活動を推進するため，様々な活動を主体的に行う場と機会の充実に努めるとともに，多様化する市民のニーズを把握しながら，関係団体等と連携して，文化芸術活動に関する情報収集・提供や支援に努める。

取組実績

【取組実績】

・公会堂，文学館，市民会館，北洋資料館，芸術ホールについて，指定管理者による管理運営を継続し，各施設の設置目的に沿った事業を実施するなど文化芸術活動を推進する取組を行った。

・市民の自主的かつ活発な文化芸術活動を促進することを目的とする「函館市文化芸術活動促進補助金」により，函館市文化団体協議会またはその加盟団体が，本市の文化芸術の振興に資する事業を実施する場合に,同協議会を通じて各加盟団体に対し助成金を交付し支援を行った。

※各施設の主な事業内容124～125ページのとおり

【過去５年間の推移】函館市文化芸術活動促進補助金交付状況（単位：件，円）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
交付件数	－	－	13	21	23
助成金額	－	－	1,384,000	1,797,126	2,176,080

※R5から事業開始

※各施設の利用状況については125ページのとおり

成果と課題

【成果】

・各施設において，文化芸術事業を実施するとともに，様々な情報の収集や発信に努め，市民の文化芸術活動の機会を充実させることができた。

・「函館市文化芸術活動促進補助金」の交付により，文化芸術活動団体が発表会や展示会を開催しやすくなり，これまで以上に市民の自主的かつ活発な文化芸術活動の充実が図られた。

【課題】

・各施設において，多様化する市民のニーズを把握し，施設の設置目的にあった事業を効果的に行っていく必要がある。

・「函館市文化芸術活動促進補助金」について，多くの文化芸術活動団体が，助成金を活用することで，より活発な活動ができるよう周知を行っていく必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

随時，必要な改修・維持補修を行うほか，関係団体等との連携を図りながら，各施設において，多様な文化芸術事業を展開し，様々な情報の収集や発信，市民の文化芸術活動の機会の充実に努める。

事 業 名	施設の管理運営等（文化芸術関係）	担当課	生涯学習文化課・文化財課

【各施設の主な事業内容】

１　公会堂

・公会堂Cityコンサート
・公会堂フォトウェディング
・旧函館区公会堂　緑の学校
・はこだて国際民俗芸術祭
（公開時間延長（入館料無料）＋イベント会場の１つとして２階大広間を使用）
・会議所事務室フォトスポット
・公会堂ガイド体験
・はこだてカルチャーナイト
（公開時間延長（入館料無料））
・旧函館区公会堂　コーヒー講座
・オリジナル写真台紙プレゼント
・公会堂トークサロン
・メロディー大広間ストリートピアノin公会堂
・旧函館区公会堂写真展
・ざいだん出前コンサート
・クリスマスミニコンサート
・季節のフォトブース

２　文学館

・石川啄木直筆資料展　特別展「東京の啄木～希望と自信を胸に創作社会へ～」
・企画展「森本貞子・宇江佐真理収蔵資料展」
・文学のひととき
　第１回「トネ・ミルンの青春」
　第２回「朗読で綴る函館の文学vol.20」
・文学の道しるべ
　第１回「デザイン×文学」
　第２回「心をいやす短歌の鑑賞と，短歌の創作」
・啄木ゆかりの地子ども交流事業「函館・盛岡交流啄木かるた大会」
・冬休み企画　ラウンジ読み聞かせ会
・デジタル紙芝居上映とラウンジ演奏会
・石川啄木講座「啄木日記はおもしろい」
・函館市文学館講演会「佐藤泰志原作『海炭市叙景』映画化から15年」

３　市民会館

・布袋寅泰コンサートツアー函館公演
・シス・カンパニー「昭和から騒ぎ」函館公演
・函館市民会館開館55周年記念　佐渡裕＆シエナ・ウインド・オーケストラブラスの祭典2025　函館公演
・U-mi う～みコンサート
・函館市民会館55周年記念　中村勘九郎　中村七之助新録歌舞伎特別公演2025　函館公演
・ざいだんアフタヌーンステージ2025（３回）
・劇団四季ミュージカル「赤毛のアン」函館公演
・函館漫才選集
・YOASOBI HALL TOUR 2025　WANDARA函館公演
・函館市民会館55周年記念　近藤真彦　爆音雷舞集会(笑)～F愛上等伝説～函館公演
・函館市民会館　開館55周年記念「NHKのど自慢」
・ざいだん出前コンサート（３回）
・函館市民文化祭　展示部門「函館アートフェスティバル2025」
・函館市民文化祭　舞台部門　函館オペラの会「モーツァルト作曲　歌劇　魔笛」
・函館ジュニア・ドリーム・オーケストラ
・ざいだん「邦楽こども教室」（通年コース，冬季短期コース）
・ざいだんアートマルシェ
・スタインウェイを弾いてみよう！
※以下，共催事業
・市民舞台芸術奨励事業委員会認定事業
・第34回「道南口説節全国大会」
・第43回公演「初春巴港賑」
・第10回世界のこどもフェスティバル

事 業 名	施設の管理運営等（文化芸術関係）	担当課	生涯学習文化課・文化財課

取組実績

４　北洋資料館
・親子体験教室「貝殻でつくろう」
・第30回函館の「海と港」児童絵画展
・親子体験教室「大漁旗をつくろう」

５　芸術ホール
・芸術ホール　キッズフェスティバル2025
・リサイタル・シリーズ～「ピアノの森」ピアノコンサート
・リサイタル・シリーズ～長谷川智之＆栗田晃＆岡田奏トリオ・リサイタル
・リサイタル・シリーズ特別企画～反田恭平＆ジャパン・ナショナル・オーケストラ 北海道ツアー2025 函館公演
・函館市民文化祭～舞台部門「華麗・錦秋の舞台」
・函館市民文化祭～展示部門「清秋・函館市文団協芸術展」
・函館市民文化祭～ぶんだん秋の庵（茶席・喫茶去）
・HAKODATE　WINTER　JAZZ　FESTIVAL
・バックステージツアー（２回）
・演劇ワークショップ
・五稜郭アーティスト事業登録公演（３回）
・市民美術展「はこだて・冬・アート特別展」
・市民美術展　第26回「はこだて・冬・アート展」
・「はこだて・冬・アート展」特別公開講座
・令和７年度函館新人演奏会～音楽の新しい風～
・ピアノコンサートフォー・ユー
・2026スプリング・コンサート

【過去５年間の推移】各施設の利用状況（入館状況）　（単位：人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
公会堂	84,849	157,600	182,970	302,025	269,543
文学館	7,050	13,687	16,186	18,892	20,845
市民会館	89,118	133,538	156,215	160,272	165,850
北洋資料館	9,567	16,172	19,892	23,181	26,218
芸術ホール	49,918	75,320	83,309	87,701	87,803

※公会堂はH30年10月からR3年4月まで保存修理工事のため休館
※市民会館および芸術ホールは，R3.5.18～R3.6.20，R3.8.28～R3.9.30の間，新型コロナウイルス感染拡大防止のため時間短縮開館

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策１　文化芸術活動の促進・支援 １　市民の主体的な文化芸術活動の充実 (2)市立小・中学校の施設を活用し，社会教育活動を行うグループやサークルなどが活動できる環境の充実に努めます。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	【再掲】学校施設文化開放の推進	担当課	生涯学習文化課

事業概要（目的等）

市民の生涯学習活動を促進するため，多様化する市民の学習ニーズを把握しながら，社会教育施設として学びの場を提供する。

取組実績

【取組実績】

・一部の市立小・中学校の特別教室を開放し，市内の文化活動や社会教育活動を行うグループ・サークルへ学習や活動の場を提供した。

【過去５年間の推移】学校開放（文化開放）利用状況　（単位：回，人，団体）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
利用回数	699	836	983	888	850
利用人員	8,440	12,110	14,450	9,586	9,055
利用団体数	29	30	36	33	39

※R3.5.18～R3.6.20およびR3.8.28～R3.9.30については，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため，事業を中止した。

※R6から利用回数および利用人員の集計方法を見直し

成果と課題

【成果】

・現在利用している団体向けへ個別に案内したほか，新規団体向けへ市ホームページなどで広く周知を行い，利用希望団体に学びの場を提供することができた。

【課題】

・現在，活動を休止しているグループ・サークルや新規のグループ・サークルへの事業の周知を積極的に行い，利用の促進を図る。

評価

○

進捗		成果		課題	
	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

事業について市民への周知を進め，利用団体の増加および活発な文化活動や社会教育活動の促進を図る。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策１　文化芸術活動の促進・支援 ２　文化芸術に接する機会の拡充 (1)文化芸術活動団体などと連携し鑑賞機会の充実を図るとともに，市民文化祭の実施など市民が気軽に文化芸術に接する機会の充実に努めます。
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）
事業名	関係団体と連携した鑑賞事業の提供　　担当課：生涯学習文化課
事業概要（目的等）	市民が地域で質の高い文化芸術に触れることができる機会を充実させるため，芸術ホールや公民館などの指定管理者である文化・スポーツ振興財団および市内の文化団体等と連携しながら，公演・展覧会などの鑑賞事業の実施を促進する。

取組実績

【取組実績】

・文化・スポーツ振興財団の主催による，芸術ホール等で開催される鑑賞事業や市内公共施設に音楽家が出向いて演奏する出前コンサートを実施した。

〈鑑賞事業〉

（市民会館）函館市民会館55周年記念 中村勘九郎 中村七之助新録歌舞伎特別公演2025函館公演，劇団四季ミュージカル「赤毛のアン」函館公演など

（芸術ホール）キッズフェスティバル2025，リサイタル・シリーズ，2026スプリング・コンサートなど

（公民館）丘の上の芸術祭，（文学館）石川啄木直筆資料展特別展，企画展　など

〈出前コンサート〉ざいだん出前コンサート（公会堂，千代田小学校，亀田交流プラザ）

・市内文化団体等が実施する演奏会や書道展などの事業に対し，後援名義使用および周知協力を行った。

【過去５年間の推移】

・鑑賞事業の開催状況　（単位：回，人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
開催回数	14	18	17	22	20
来場者数	14,429	24,573	27,622	28,342	41,069

・出前コンサートの開催状況　（単位：回，人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
開催回数	3	2	2	2	3
来場者数	289	200	220	315	330

成果と課題

【成果】

・出前コンサートや鑑賞事業を実施することにより，市民が優れた文化芸術に触れる機会を提供することができた。

・市内文化団体等の事業実施に際し，市が後援名義することにより，市民が優れた文化芸術を身近に親しむ機会の提供とチラシやポスター配布等の広報協力を行った。

【課題】

・開催時期，出演者，内容等により，来場者数に変動があるため，指定管理者が実施する利用者アンケート等により利用者ニーズを把握し，魅力ある事業を提供する必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

各種団体と連携を深めながら，市民が文化芸術に親しみ，身近に触れることができる鑑賞機会のさらなる充実に努める。

<table>
<tr><td rowspan="4">基本計画
の 体 系</td><td colspan="3">基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興</td></tr>
<tr><td colspan="3">施策１　文化芸術活動の促進・支援</td></tr>
<tr><td colspan="3">２　文化芸術に接する機会の拡充</td></tr>
<tr><td colspan="3">(1)文化芸術活動団体などと連携し鑑賞機会の充実を図るとともに，市民文化祭の実施など市民が気軽に文化芸術に接する機会の充実に努めます。</td></tr>
<tr><td>その他計画
の位置づけ</td><td colspan="3">□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針
□その他（　　）</td></tr>
<tr><td>事 業 名</td><td>市民文化祭等の開催</td><td>担当課</td><td>生涯学習文化課</td></tr>
<tr><td>事業概要
（目的等）</td><td colspan="3">市民主体の多様な文化芸術活動を促進するため,市民の文化芸術に接する機会の充実を図る。</td></tr>
<tr><td>取組実績</td><td colspan="3">【取組実績】
※次ページのとおり

【過去５年間の推移】
※次ページのとおり</td></tr>
<tr><td>成 果 と
課　　題</td><td colspan="3">【成果】
・市民文化祭等の開催により，文化芸術活動者や団体の発表の場を提供し，また，幅広い市民に文化芸術に接する機会を提供した。
・文化芸術活動団体の活動を助成する「函館市文化芸術活動促進補助金」により，発表会や展示会等の開催を支援するとともに，市民の文化芸術に触れる機会の増加につなげた。
・亀田交流プラザ大会議室前壁面における展示事業の実施により，当該壁面を芸術活動の発表の場，来館者が芸術作品を鑑賞できる場として活用し，市民の文化芸術活動の活性化や施設の魅力向上が図られた。
【課題】
・市民文化祭の開催等について，これまで以上に多くの市民に興味を持ってもらうため，広報紙などを活用して広く周知を図る必要がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">評　　価</td><td rowspan="5">○</td><td colspan="2">進　捗</td><td colspan="2">成　果</td><td colspan="2">課　題</td></tr>
<tr><td></td><td>予定どおり</td><td></td><td>成果が十分</td><td></td><td>課題はない（ほとんどない）</td></tr>
<tr><td>✔</td><td>概ね予定どおり</td><td>✔</td><td>成果が一定程度</td><td>✔</td><td>課題は小さい</td></tr>
<tr><td></td><td>やや遅れ</td><td></td><td>成果が不十分</td><td></td><td>課題はやや大きい</td></tr>
<tr><td></td><td>遅れ</td><td></td><td>成果が見られない</td><td></td><td>課題は大きい</td></tr>
<tr><td>今年度の
状　　況</td><td>継続</td><td colspan="5">文化団体協議会や文化・スポーツ振興財団と連携を図り，文化芸術活動に関する情報発信に努め，文化芸術活動者が，日々積み重ねた研鑽の成果を発揮することのできる場や幅広い世代の市民が文化芸術に触れる機会を提供する。</td></tr>
</table>

事 業 名	市民文化祭等の開催	担当課	生涯学習文化課

取組実績

【取組実績】

1　市民文化祭の開催

・文化芸術活動団体などと連携を図り，市民文化祭を開催するとともに，市政はこだて等による情報発信を行った。

〈主な実施内容〉

［舞台部門］

・11.2　函館市文化団体協議会「華麗・錦秋の舞台」

・11.16　函館オペラの会「モーツァルト作曲　歌劇　魔笛」

［展示部門］

・10.30～11.3　函館市文化団体協議会「清秋・函館市文団協芸術展」
（文団協加盟団体による書・美術作品等）

・10.30～11.2　函館市文化団体協議会「ぶんだん秋の庵」
（茶席・喫茶去）

・11.13～11.16「函館アートフェスティバル2025」（市民からの応募作品展示）

2　函館市文化芸術活動促進補助金の交付

・市民の自主的かつ活発な文化芸術活動を促進することを目的とする「函館市文化芸術活動促進補助金」により，函館市文化団体協議会またはその加盟団体が，本市の文化芸術の振興に資する事業を実施する場合に,同協議会を通じて各加盟団体に対し助成金を交付し支援を行った。

3　亀田交流プラザにおける芸術作品の展示

・亀田交流プラザ３階大会議室前壁面を，芸術作品の発表の場や来館者が芸術作品を鑑賞できる場として有効に活用し，展示を希望する個人・団体の芸術作品展示事業を行った。

［令和７年度実績］　展示件数　10件

【過去５年間の推移】

・市民文化祭来場者数　（単位：人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
来場者数	3,238	3,507	4,185	4,024	4,065

・函館市文化芸術活動促進補助金交付状況　（単位：件，円）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
交付件数	－	－	13	21	23
助成金額	－	－	1,384,000	1,797,126	2,176,080

※R5から事業開始

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策１　文化芸術活動の促進・支援 ２　文化芸術に接する機会の拡充 (1)文化芸術活動団体などと連携し鑑賞機会の充実を図るとともに，市民文化祭の実施など市民が気軽に文化芸術に接する機会の充実に努めます。		
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	戸井地区文化祭の開催	担当課	戸井教育事務所
事業概要（目的等）	地域社会に結びついた芸術文化の創造と普及および地域文化の振興を目的として，戸井地区文化祭を開催する。		

取組実績

【取組実績】

・戸井地区文化祭を開催した。

芸能発表部門（社会福祉協議会戸井支所の「令和７年度福祉のつどい」と合同開催）

出演：大間町海鳴り太鼓保存普及会，戸井幼稚園遊戯，
コーラスグループＴ・Ｏ・Ｉ合唱，戸井地区ふれあい学園カラオケ友の会合唱

開催日：令和７年11月８日

場所：戸井西部総合センター　集会ホール

展示発表部門：戸井幼稚園園児・戸井学園児童生徒の絵画や書道，一般の陶芸，手芸など

開催日：令和７年11月８日から11月12日まで

場所：戸井西部総合センター　集会ホール・エントランスホール

【過去５年間の推移】戸井地区文化祭来場者数　　（単位：人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
来場者数	280	278	300	266	287

※R3，R4は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため展示発表部門のみ開催

成果と課題

【成果】

・市民の自主的文化芸術活動の促進と展示発表の機会を提供することができた。

・文化祭の実施にあたり，地域の文化サークル等が実行委員会を組織し，会場の設営や進行などを行うことによりサークル相互の連携が図られた。

【課題】

・文化サークルの減少により,芸能発表や展示発表における出演（展）者数が減少傾向にある。

評価

○

進捗		成果		課題	
✔	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

文化祭を開催し，芸能発表と展示発表を行い，自主的芸術文化活動の促進と地域住民の芸術文化への意識の高揚を図る。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策１　文化芸術活動の促進・支援 ２　文化芸術に接する機会の拡充 (1)文化芸術活動団体などと連携し鑑賞機会の充実を図るとともに，市民文化祭の実施など市民が気軽に文化芸術に接する機会の充実に努めます。		
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	恵山文化祭の開催	担当課	恵山教育事務所
事業概要（目的等）	恵山地域の幼児から高齢者まで幅広い世代の方々が，自主的・創造的に取り組んだ様々な文化芸術活動の成果を発表する場として，文化芸術活動団体等と連携を図りながら恵山文化祭を年１回開催し，住民が気軽に文化芸術に接する機会を提供する。		

取組実績

【取組実績】
・函館市ボランティア連絡協議会えさんとの共催によるステージイベントのほか各種美術作品等の作品展示会を開催した。
・ステージイベントにおいては，地域の認定こども園や小・中学校のほか，市内の文化芸術活動団体によるステージ発表を行った。
・作品展示会においては，地域の認定こども園，子育てサロン，小・中学校等７団体のほか，個人参加を含む12組から創作作品（書道，絵画，折り紙，手作りアート，写真等）の出展があった。
展示時期：令和７年10月22日から10月29日まで
展示場所：恵山コミュニティセンター

【過去５年間の推移】恵山文化祭来場者数　（単位：人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
来場者数	16	200	157	200	122

※R3は，新型コロナウイルス感染症拡大防止のためステージイベントを中止し，作品展示会のみを実施
※R4は，新型コロナウイルス感染症拡大防止のため人数制限して開催

成果と課題

【成果】
・認定こども園や小・中学校，住民が一体となり，昨年度より多くの優れた文化芸術を創造し発表することで，文化芸術の意識の高揚につながった。

【課題】
・地域の人口減少や高齢化が進行しており，作品展示会やステージイベントにおける参加者の減少が見込まれるため，さらなる周知の強化を図る必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
✔	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

地域住民の文化芸術活動の促進・支援を図るため，幼児から高齢者までの幅広い年齢層の文化芸術に係る発表の場や接する機会の充実をめざし，取組を進める。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策１　文化芸術活動の促進・支援 ２　文化芸術に接する機会の拡充 (1)文化芸術活動団体などと連携し鑑賞機会の充実を図るとともに，市民文化祭の実施など市民が気軽に文化芸術に接する機会の充実に努めます。
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	椴法華地域文化祭の開催	担当課	椴法華教育事務所

事業概要（目的等）

椴法華地域における芸術文化活動の発表や地区住民の交流，芸術鑑賞の機会を提供し，文化振興を図ることを目的として，椴法華地域文化祭を開催する。

取組実績

【取組実績】

・椴法華地域文化祭の開催
　展示部門　小・中学生：絵画，書道
　　一般：手芸，切り絵，陶芸，手作り作品　など
　芸能発表：小学生の和太鼓演奏　など
　時期：令和７年11月２日
　場所：椴法華総合センター

【過去５年間の推移】椴法華地域文化祭来場者数　（単位：人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
来場者数	－	103	－	－	300

※R7は第7回椴法華海鮮まつりとの合同開催
※来場者数は展示部門観覧者数

成果と課題

【成果】

・住民の自主的文化芸術活動の促進や展示発表と芸能発表の機会の充実が図られた。

【課題】

・地域の人口減少・高齢化により，展示部門や芸能発表における参加者確保が難しい。

評価

○

進捗		成果		課題	
✔	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度		課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分	✔	課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

文化祭は地域関係者との協議により３年に１回の開催となっており，次回の開催は令和10年度となるが，児童・生徒数の減少が想定されることから，内容の大幅な見直しの検討が必要である。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策１　文化芸術活動の促進・支援 ２　文化芸術に接する機会の拡充 (1)文化芸術活動団体などと連携し鑑賞機会の充実を図るとともに，市民文化祭の実施など市民が気軽に文化芸術に接する機会の充実に努めます。		
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	南茅部地域文化祭の開催	担当課	南茅部教育事務所
事業概要（目的等）	南茅部地域において，地域文化の高揚を図るため，地域で活躍している個人・サークルなどの活動成果を発表する場として地域文化祭を開催する。		

取組実績

【取組実績】
・地域の個人やサークル，認定こども園，小・中・高等学校の幼児児童生徒による作品を展示したほか，ワークショップ等を開催した。
　作品展示：写真，絵画，手芸，盆栽，生け花，書道など
　ワークショップ：サイエンスショー，工作，キャンドル，消しゴムハンコ，そば打ちショーなど
　時期：令和７年11月１日から11月２日まで
　場所：南茅部総合センター

【過去５年間の推移】南茅部地域文化祭来場者数　　（単位：人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
来場者数	279	278	231	203	238

成果と課題

【成果】
・住民の自主的な文化活動の促進につなげるとともに，作品発表や文化芸術に接する機会を提供できた。

【課題】
・出展者の減少や固定化が見られることから，地域の様々な文化活動の支援等を積極的に行い，出展者を確保する必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	住民の自主的な文化活動の継続的支援するとともに発表の機会の充実のため，南茅部地域文化祭を開催し，地域住民の文化芸術への意識の高揚を図る。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策１　文化芸術活動の促進・支援 ２　文化芸術に接する機会の拡充 (2)小・中学校に芸術家などを講師として派遣し，児童生徒が文化芸術に親しみ，豊かな創造力を育む機会の充実に努めます。		
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	文化芸術アウトリーチ事業の取組	担当課	生涯学習文化課
事業概要（目的等）	豊かな創造力を育むとともに，将来の活動者や鑑賞者を育てるため，小・中学校に芸術家などを講師として派遣し，子どもたちが文化芸術に触れることができる機会を提供する。		

取組実績

【取組実績】
・市内の小・中学校へ地域で活動する音楽や洋舞，美術などの芸術家や団体を派遣し，鑑賞やワークショップを開催した。
（主な取組内容：伝統音楽，茶道，舞踊，器楽演奏，落語など）

【過去５年間の推移】アウトリーチ事業の活用状況　（単位：校，件，人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
学校数	32	29	33	32	36
活用件数	53	48	52	50	50
児童生徒数	2,443	2,476	2,605	2,722	2,784

成果と課題

【成果】
・各学校の要望に合った事業を実施することができた。

【課題】
・できるだけ多くの学校が活用できるよう，周知等に努める必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

文化芸術の振興には，次代を担う人材の育成が不可欠であり，将来に向けた担い手や鑑賞者を育むことが重要であるため，要望のある学校に対し芸術家を派遣し，子どもたちが文化芸術に触れることができる機会を提供する。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策１　文化芸術活動の促進・支援 ２　文化芸術に接する機会の拡充 (3)生徒が多様な文化芸術に親しめるよう，国が示している文化部活動の地域移行の動向も踏まえ，文化芸術活動の機会の確保について検討します。		
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	文化部活動の地域展開	担当課	教育政策課，生涯学習文化課
事業概要（目的等）	急激な少子化が進むなかでも，将来にわたって生徒が継続的に文化芸術活動に親しむ機会の確保・充実を図り，障がいのある生徒や文化芸術活動が苦手な生徒を含め，すべての生徒がそれぞれの希望に応じて多種多様な活動に参加できるよう，文化部活動の地域展開を推進する。		
取組実績	【取組実績】 ・国における部活動改革の検討状況や令和７年12月に公表された「部活動改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」を踏まえ，本市における部活動地域展開の進め方等について検討を行った。 ・「函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会」において，「函館市における部活動地域展開の進め方（案）」や「地域クラブ活動の日」について提示し，意見を聞いた。 ・部活動の地域展開について，函館市文化団体協議会や函館市文化・スポーツ振興財団，個別の文化芸術団体等との意見交換を行った。 ・部活動の地域展開に向けた生徒・保護者の理解促進を目的として，令和８年８月以降の部活動の休養日に実施する「地域クラブ活動の日」の取組について，函館市文化団体協議会や函館市文化・スポーツ振興財団を通じ，地域の文化芸術団体に協力を依頼した。		
成果と課題	【成果】 ・国の方針や地域の関係者の意見を踏まえながら，本市における部活動地域展開の進め方等についての検討を行うことができた。 ・地域の文化芸術団体との意見交換や「地域クラブ活動の日」に係る協力依頼などを通じて，文化部活動の地域展開に向けた関係者の理解が深まった。 【課題】 ・部活動の地域展開にあたっては，国の方針を踏まえ，「認定地域クラブ活動」の整備方針や認定制度，各種支援策等を整備したうえで,運営団体・実施主体の整備，指導者の確保・育成，活動場所の確保，生徒の安全・安心の確保，障がいのある生徒の活動機会の確保等の各種課題に対応する必要がある。		

評価	△	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度		課題は小さい
			やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない	✔	課題は大きい

今年度の状況	拡充	「認定地域クラブ活動」の整備に向けた検討・準備を進めるとともに，「地域クラブ活動の日」の取組により，文化部活動の地域展開に向けた生徒・保護者の理解促進を図る。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策１　文化芸術活動の促進・支援 ３　文化芸術活動を担う人材の育成 (1)優れた作品などを発表する機会の充実を図り，児童生徒の創意と潤いのある個性豊かな文化芸術活動を一層促進し，人材の育成に努めます。		
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	青少年芸術教育奨励事業の実施	担当課	生涯学習文化課
事業概要（目的等）	創意と潤いのある個性豊かな芸術活動の一層の振興を図るため，文学・美術・書・音楽の４部門として作品,演奏などを公募し，優れた作品，演奏などを選定し，発表する機会を設ける。		

取組実績

【取組実績】
・市内在住または市内の学校に通学する児童生徒を対象に，文学・美術・書・音楽の４部門で作品，演奏などを公募し，計145名へ青少年芸術教育奨励賞を授与するとともに，その作品などを発表する機会を設けた。
（令和７年度受賞者の内訳：文学31人，美術39人，書39人，音楽36人）

【過去５年間の推移】応募者数　　（単位：人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
小学校	259	359	493	247	482
中学校	390	304	221	231	299
高校	89	78	81	143	117
合計	738	741	795	621	898

成果と課題

【成果】
・文学・美術・書・音楽の４部門で計145名へ青少年芸術教育奨励賞を授与し，その作品，演奏などを市民に発表する機会を設け，芸術活動の振興が図られた。
・小学校全児童へチラシを配布し，事業の周知に努め，多くの作品の応募があった。

【課題】
・児童生徒数が減少傾向にあるが，優れた作品などを発表する機会である当事業について，一層の周知を図る必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
✔	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

子どもの主体的，創造的な文化芸術活動を通して豊かな感性を養い，心豊かな人材の育成のため，事業を実施する。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策１　文化芸術活動の促進・支援 ３　文化芸術活動を担う人材の育成 (2)各種研修会などへの参加を促進し，文化芸術活動を主体的に担う人材の育成に努めます。		
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　□教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	アートマネジメント人材の育成支援	担当課	生涯学習文化課
事業概要（目的等）	本市の文化芸術活動の拠点施設における従事者の人材育成を図るため，アートマネジメントや管理，舞台技術などの研修への参加促進等に努める。		

取組実績

【取組実績】

・市民会館および芸術ホール等を管理運営している文化・スポーツ振興財団に対し，文教施設従事者のためのアートマネジメントや管理，舞台技術などの研修案内を送付したほか，モニタリングなどの機会に，研修への参加を促した。

・市民の自主的かつ活発な文化芸術活動を促進することを目的とした「函館市文化芸術活動促進補助金」により，函館市文化団体協議会またはその加盟団体が，本市の文化芸術の振興に資する事業を実施する場合に，同協議会を通じて各加盟団体に対し助成金を交付し，支援を行った。

【過去５年間の推移】

・研修参加者数　（単位：人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
参加者数	14	14	11	14	22

・函館市文化芸術活動助成金交付状況　（単位：件，円）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
交付件数	－	－	13	21	23
助成金額	－	－	1,384,000	1,797,126	2,176,080

※R5から事業開始

成果と課題

【成果】

・市民会館および芸術ホール等を管理運営している文化・スポーツ振興財団の職員が関係団体の研究大会や専門的な研修会等に参加し，最新のアートマネジメントや管理，舞台技術などを学び，スキルアップが図られた。

・「函館市文化芸術活動促進補助金」を活用することで，文化芸術活動団体が体験会やワークショップ等を開催しやすくなり，担い手確保の促進が図られた。

【課題】

・研修会等への参加による人材育成については，計画的に取り組んでいく必要がある。

・「函館市文化芸術活動促進補助金」について，多くの文化芸術活動団体が，助成金を活用することでより活発な活動ができるよう周知を行っていく必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

様々な研修の情報を提供するとともに，文教施設従事者の参加を促し，文化芸術活動を主体的に担う人材育成に努める。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策２　文化遺産の保存・活用と伝統文化の継承 １　文化遺産の保存・活用 (1)指定文化財の保存整備や新たな指定，公開など，本市の貴重な文化財の保護と活用を計画的に推進します。
その他計画の位置付け	■基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 ■その他（過疎地域自立促進市町村計画）

事業名	特別史跡五稜郭跡環境整備事業の計画的な推進，重要文化財の保存修理事業の推進	担当課	文化財課

事業概要（目的等）

市内には多数の史跡および文化財建造物が現存しているが，長年の風雪等により傷みが出ていることから，計画的な保存整備を行うため，市が管理する特別史跡五稜郭跡を整備するほか，国や道の補助事業を活用し，民間所有重要文化財建造物の保存修理等への補助を実施する。

取組実績

【取組実績】

１　特別史跡五稜郭跡環境整備事業

・破損が確認された裏門橋の補修工事を実施した。
・今後の五稜郭跡における保存整備の指針となる保存活用計画の策定に取り組んだ。
・石垣動態観測を実施した。

２　重要文化財の保存修理事業の推進

・文化財指定等について，新たな文化財の指定・登録に向けた調査・協議を進めた。
・民間所有文化財建造物の保存修理等について，２件の重要文化財建造物の保存修理等に補助金を交付した。

【過去５年間の推移】文化財数および国補助事業数　　（単位：件）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
文化財	149	149	150	149	150
国補助事業	8	6	5	5	5

成果と課題

【成果】

・五稜郭跡の裏門橋補修や重要文化財建造物の保存修理などを実施し，文化財の保全を推進することができた。

【課題】

・文化財の保全には多額の経費が必要となるため，国・道の補助事業などの財源を確保していく必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
✔	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

文化財の保存・活用を推進するため，保存修理事業等を行う。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策２　文化遺産の保存・活用と伝統文化の継承 １　文化遺産の保存・活用 (2) 縄文文化交流センターを中核として，世界文化遺産に登録された史跡垣ノ島遺跡・史跡大船遺跡などの貴重な遺産を活用し，縄文文化の普及・啓発の取組を推進します。
その他計画の位置付け	■基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 ■その他（過疎地域持続的発展市町村計画）

事業名	縄文文化交流事業の推進，世界遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」の受入体制の強化と普及啓発活動の推進	担当課	文化財課

事業概要（目的等）

世界文化遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値を守り伝えるため，受入体制の強化を図るとともに，普及啓発活動を実施し，来訪者の満足度や市民の認知度を高める取組を進める。

取組実績

【取組実績】

※次ページのとおり

【過去５年間の推移】各施設の来訪者数　　（単位：人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
垣ノ島遺跡	26,871	43,478	34,063	30,027	24,594
大船遺跡	25,682	29,405	23,137	19,329	15,831
縄文文化交流センター	29,838	36,936	31,551	30,994	28,793

※垣ノ島遺跡は，R3.7.28公開

成果と課題

【成果】

・受入体制の整備として駐車場の確保などを実施し，利便性の向上に努めたほか，「縄文まつり」など市民協働によるイベントの実施やＰＲ活動を充実させたことで，多くのメディアにより紹介され，縄文文化に対する市民の関心を高めることができた。

【課題】

・世界遺産登録後に増加した来訪者数は，経年により逓減している状況にあるが，史跡にとって適切な来訪者数を維持しながら，リピーター，インバウンド，団体旅行客等への対策や高付加価値な縄文体験の提供など，多様なニーズに柔軟に対応できるよう，様々な取組を継続していく必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
✔	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

縄文遺跡群の保存・活用を推進するため，受入体制の維持・拡充や，来訪者の満足度向上につながる施策を実施するとともに，関係団体等と協力した遺跡内外でのイベントなどを通じて効果的なＰＲ活動を実施していく。

事 業 名	縄文文化交流事業の推進，世界遺産である「北海道・北東北の縄文遺跡群」の受入体制の強化と普及啓発活動の推進	担当課	文化財課

取組実績

【取組実績】

1　受入体制整備

(1) 臨時駐車場開設
(2) 大船遺跡　多言語音声ガイドの導入（R7.4月）
(3) 縄文文化交流センター　解説パネル多言語QRコードの設置（R7.8月）
(4) 道路標識看板の整備　開発建設部・渡島道路事務所・市土木部道路建設課と看板増設について協議

2　普及啓発活動

(1) 国宝土偶発見50年記念事業
・クリアファイルの作成　700部
・参議院議員通常選挙　投票済証に記念事業ロゴと国宝土偶の写真（解説文）付き(R7.7.20)
・市政はこだて９月号　特集「世界遺産と国宝」
・国宝（レプリカ）の相互賃借
遠軽町埋蔵文化財センター企画展「北の大地の国宝～時を越えた人々の想い～」(R7.8.23-9.28)
縄文文化交流センター企画展「国宝「土偶」カックウ発見50年のあゆみ」(R7.8.23-10.10)
・地学協働学習フォーラム「２つの国宝『中空土偶』と『白滝遺跡群出土品』に学ぶ」(R7.9.20)
(2) 世界遺産登録４周年記念事業
・縄文文化交流センター　無料入館　(R7.7.27)入館者385人，(R7.11.3)入館者213人
・はこだて縄文まつり 2025　(R7.10.5)　来訪者 約1100人
縄文体験学習「中空土偶（レプリカ）をだっこしてみよう」(R7.10.5)　参加者152人
(3) イベント協力
・埼玉イオンレイクタウン mori「北海道フェア」(越谷市)　出展(R7.7.1-7.6・9.25-9.30)
・考古学カフェ2025&縄文夏まつり2025(札幌市) 協力(R7.7.5-7.6)
・伊達市縄文シンポジウム・だて噴火湾縄文まつり（伊達市）(R7.7.12-7.13)
・特別展「世界遺産　縄文」　国宝中空土偶，大船遺跡・垣ノ島遺跡出土品等の展示　協力
東北歴史博物館(R7.7.12-9.15)，京都文化博物館(R7.10.4-11.30)，群馬県立歴史博物館(R8.1.17-3.8)
・縄文カンパス　函館バス１日乗車券の販売(R7.7.26-9.28)
・おしまの縄文に触れる日2025　(R7.7.27)
・おしまの縄文パネル展　金森赤レンガ倉庫(R7.7.16-7.22)，地域交流まちづくりセンター(R7.9.1-9.6)，中央図書館(R7.12.5-12.15)
・縄文シティサミット・エクスカーション(R7.8.24-8.25)
・JOMON EXPO 2025 見て、聞いて、おしまの縄文 魅力発見！(R7.9.21)
・北海道縄文のまち連絡会総会・視察(R7.9.22)
・HOKKAIDO LOVE!祭(吹田市)　出展(R7.11.8-11.9)
・縄文雪まつり2026～縄文LOVE大集合～(札幌市)　出展(R8.2.8-2.9)　共催
・第76回さっぽろ雪まつり(R8.2.4-2.11)
大通会場４丁目STV広場　大雪像「祈り～縄文からのメッセージ」，９丁目市民雪像　「茅空」
(4) その他　函館駅内縄文コーナー　展示替え(R7.12.22)

3　縄文遺跡群世界遺産本部関連事業

・湖池屋プライドポテト「日本の神業 縄文香る帆立だし」第２弾発売(R7.7.21)
・デジタル御朱印企画「ジョウモントラベラーズ」(R7.7.25-R8.3.31)
・世界遺産フォーラム　参加　(福岡R7.11.15-11.16・東京R8.1.25)

4　北海道・北海道教育委員会関連事業

・見て・聞いて・触れて楽しい！縄文世界遺産登録４周年イベント(札幌市)　協力　(R7.7.27)
・教材の紹介チラシ「一緒に学ぼう！北海道の縄文遺跡」配布協力(R7.5月)
・縄文遺跡探究ワークブック「じょもるんとじょうもんへ」刷新協力(R8.2月)
・「北海道・北東北の縄文遺跡群」ガイド研修　協力　(R8.3.20)

5　縄文関係団体関連事業

・北の縄文CLUB
大船遺跡周辺清掃(R7.4.19)，大船遺跡での土器野焼き(R7.10.18)，シ―ニックdeナイト(R8.2.1)
・縄文DOHNANプロジェクト　小学校新入学１年生へ縄文グッズ配布　協力(R7.4.3)
JOMONどうなん発見inグランディールイチイ　協力(R7.8.17)
どうなんJOMON発見in函館蔦屋書店　協力(R8.3.1)
・函館ユネスコ協会　ユネスコ市民公開セミナー　後援(R7.9.14)
・南かやべ森と海の会　垣ノ島遺跡内への植樹　(R7.10.25)
・函館ブルーデスティネーション実行委員会　モニターツアーの実施(R7.11.5・R7.11.15)

6　郷土学習推進事業「縄文に触れる学習」

・市立小学校３年児童（約1,400人）の縄文施設現地学習

7　縄文遺跡およびガイダンス施設運営

(1) 垣ノ島遺跡　定時解説〔１日３回〕，発掘体験〔１日２回〕　４月～10月
(2) 大船遺跡　　定時解説〔１日２回〕　４月～10月
(3) 縄文文化交流センター
・企画展「国宝「土偶」カックウ発見50年のあゆみ」(R7.8.23-10.10)
・各種講座（土偶の凧づくり，チョコレートで石器づくりなど）
・中空土偶アクリルスタンドの販売(R7.7.26開始)
・カックウサンデーの販売(R7.8.2-10.5)

8　他部局による縄文世界遺産の活用推進に係る主な取組

(1) 函館市南茅部地域おこし協力隊の活動

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策２　文化遺産の保存・活用と伝統文化の継承 １　文化遺産の保存・活用 (3)博物館や図書館において収蔵している資料を展覧会などで展示するとともに，デジタル化して保存・公開するほか，（仮称）総合ミュージアムの整備を検討するなど，市民や観光客が函館の歴史に理解を深める取組を推進します。
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	博物館講座・企画展の充実，博物館資料の整理・活用	担当課	博物館

事業概要（目的等）

他の教育機関などと連携して展覧会を開催するとともに，体験型の講座を開催し，市民の郷土愛の育成や学習意欲の向上に努める。

取組実績

【取組実績】

・企画展「知られざるオホーツク海先史文化紀行」を開催し，展示のほか，市民を対象とした展示解説セミナーや講演会を行った。
・収蔵資料展として「酒は飲んでも飲まれるな-懐かしのお酒ディスプレイ-」，ロビー展「戦後80年太平洋戦争と函館」，「池谷寅一～画家の愛した函館～」，「函館博物館史」等を開催した。
・ひとつぼミュージアムとして「サムライ絵師,江戸を描く！江戸風俗十二ヶ月揃」展を開催した。
・市ホームページ内のデジタルアーカイブでは，収蔵資料のデジタル資料公開数を増やしたほか，ＳＮＳ等で情報発信に努めた。
・博物館講座では，小学生を対象とした夏休み・冬休み自由研究の体験講座をはじめ，バックヤードツアーのおもてなし講座などを開催した。

【過去５年間の推移】入館者数　　（単位：人）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
博物館本館	10,836	14,250	14,082	16,759	17,601
郷土資料館	4,864	6,196	5,740	6,240	6,966
北方民族資料館	19,384	35,650	42,517	46,744	50,831

成果と課題

【成果】

・企画展，収蔵資料展では，貴重な資料を広く市民や観光客に紹介することで，博物館のＰＲにつながった。
・博物館講座では，小学生や保護者等を対象とした講座を実施し，市民に学ぶ機会を提供することができた。
・市ホームページやＳＮＳ等を活用し情報発信したことで，市民や観光客に博物館および収蔵資料について周知を図ることができた。

【課題】

・博物館講座の募集定員に満たないケースもあることから，生涯学習の場として博物館の利用増につなげるために，講座や展覧会の一層の充実を図るとともに，博物館のＰＲに努める必要がある。
・郷土資料の展示機能を担う郷土資料館については，繁忙期（５月～10月）の入館者数が年間の約８割を占めており，閑散期との偏りが大きいことから，閑散期の入館者増に向けて，より一層ＰＲに努める必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
✔	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

テーマを変え，講座や企画展など事業の充実を図るとともに，ＳＮＳなども活用し，日曜日の無料入館の周知を含め，市民や観光客の関心を高めながら，生涯学習の場としての役割を果たしていく。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策２　文化遺産の保存・活用と伝統文化の継承 １　文化遺産の保存・活用 (3)博物館や図書館において収蔵している資料を展覧会などで展示するとともに，デジタル化して保存・公開するほか，（仮称）総合ミュージアムの整備を検討するなど，市民や観光客が函館の歴史に理解を深める取組を推進します。
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　■教育行政執行方針 □その他（　　）

事業名	図書館郷土資料の整理・活用，デジタルアーカイブ事業の推進	担当課	博物館

事業概要（目的等）

資料の適切な管理・保存をするため，図書館システムへの未登録資料のデータ登録作業を行うとともに，蓄積データの整理を進め，インターネット公開サイト「デジタル資料館」において資料公開を行う。

取組実績

【取組実績】
・資料の管理体制・保存方法の見直しを含めた書庫内整理を行うとともに，順次，図書館システムに未登録資料のデータ登録作業を行った。
・地元大学との連携を図り，蓄積されたデータの整理を進めながら，インターネットで公開しているデジタルデータ公開サイト「デジタル資料館」の充実に努めた。
・市民や観光客に函館の歴史について理解を深めてもらうため，資料公開を進めた。

【過去５年間の推移】デジタル資料館の利用状況　　（単位：人，回）

区分	R3	R4	R5	R6	R7
デジタル資料館ユーザー数	17,134	17,564	11,235	11,983	24,916
デジタル資料館アクセス数	469,654	497,689	369,159	467,097	420,672
函館市史デジタル版アクセス数	2,187,350	1,941,129	748,426	1,178,519	1,191,946

成果と課題

【成果】
・順次，図書館システムに未登録資料のデータ登録を行い，「デジタル資料館」を充実させ，蓄積したデータの資料をインターネットで公開することで，市民や研究者等が函館の歴史についての理解を深めることができた。
・研究者等に活用してもらうことで，所蔵している郷土資料を，広く発信することができた。

【課題】
・子どもたちをはじめ多くの市民に，郷土への愛着を育んでもらうため，デジタル資料館を充実させるとともに事業のＰＲに努める必要がある。

評価

○

進捗		成果		課題	
✔	予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
	概ね予定どおり	✔	成果が一定程度	✔	課題は小さい
	やや遅れ		成果が不十分		課題はやや大きい
	遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況

継続

郷土資料の整理と資料のデジタル化を積極的に進めるとともに，市民などに函館の歴史についての理解を深め郷土愛を育んでもらうため，積極的に事業を推進する。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興 施策２　文化遺産の保存・活用と伝統文化の継承 ２　伝統文化の継承 (1)本市の特色ある郷土芸能の保存会などへの支援を行い，保存伝承活動の促進に努めます。		
その他計画の位置付け	□基本構想実施計画　　□教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	後継者の育成等，伝統芸能の保存継承	担当課	南茅部教育事務所，文化財課，生涯学習文化課
事業概要（目的等）	伝統的な文化芸術を保存・継承し地域文化の充実を図るため，郷土芸能の保存会に対する活動支援を行い，保存伝承活動および後継者の育成支援を図る。		
取組実績	【取組実績】 ・地域の祭り（ひろめ舟まつり）において，大船南部神楽保存会による神楽を披露した。 ・文化芸術アウトリーチ事業において，児童生徒に郷土芸能に触れる機会を提供すべく，プログラムに取り入れた。		
成果と課題	【成果】 ・大船南部神楽を祭りで披露することにより，保存伝承活動を実施できた。 【課題】 ・伝承者の減少や後継者不足により，十分な活動を行うことができなかった。 ・今後の保存伝承活動および後継者の育成について，検討する必要がある。		

評価	△	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
		✔	概ね予定どおり		成果が一定程度		課題は小さい
			やや遅れ	✔	成果が不十分	✔	課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	**継続**	伝承者の減少や後継者不足により十分な活動はできないが，地域文化の充実を図るため，郷土芸能の保存伝承活動への支援を継続して行う。

基本計画の体系	基本目標５　心の豊かさを育む文化芸術の振興		
その他計画の位置づけ	□基本構想実施計画　　□教育行政執行方針 □その他（　　）		
事業名	社会教育施設等の維持管理	担当課	生涯学習文化課
事業概要（目的等）	市民の生涯学習や文化芸術活動を推進するため，老朽化が進んでいる社会教育施設等において，必要な改修を行い，安全・安心な施設とするほか，施設全体の延命化を図りながら，利用者にとって利用しやすい環境を確保する。		
取組実績	【取組実績】 〈千歳図書室〉GHP修繕（880千円） 〈旭岡図書室〉トイレ洋式化改修工事（945千円） 〈中央図書館〉１階防煙垂壁硝子破損修繕（82千円）， 照明設備ＬＥＤ化改修工事（70,510千円） 〈北洋資料館〉温風暖房機更新工事（4,796千円），展示ケースガラス扉鍵修繕（25千円） 〈芸術ホール〉ホワイエ１階男子トイレフラッシュバルブ修繕（30千円）， 楽屋ロビー誘導灯修繕（128千円）， 地下ギャラリー前女子トイレウォシュレット修繕（107千円）， 正面玄関自動ドアセンサー修繕（115千円），ミュージックチャイム交換修繕（268千円）， 除雪機オーガハウジング修繕（25千円），地下消火栓ポンプ漏水修繕（506千円）， 光電式スポット型感知器取替修繕（81千円），誘導灯・交換電池取替修繕（330千円）， ホワイエ４階キャットウォーク照明修繕（125千円）， 吸収式冷温水機１号機不具合調査・修繕（814千円）， 地階衛生ポンプ設備雑排水層（DP-５）内フロート修繕（50千円）， 地階衛生ポンプ設備汚水槽（DP-６）ポンプ取手修繕（13千円） 〈亀田交流プラザ〉駐車場精算機新札対応紙幣リーダー交換修繕（308千円）， 駐車場精算機新500円硬貨対応コインメック交換修繕（201千円） 〈青少年研修センター〉発電機始動用バッテリー取替修繕（352千円） 〈市民会館〉小ホール緞帳吊下し再吊下し再吊込み調整業務（5,860千円）， 小ホール緞帳防炎処理および修復業務（2,281千円） 〈青少年研修センター〉生活道路アスファルト陥没修繕（237千円）		
成果と課題	【成果】 ・社会教育施設等において，緊急性や施設運営への影響などを勘案した整備改修および維持補修を実施し，効果的な社会教育施設等の整備に努めることができた。 【課題】 ・多くの施設において，老朽化や設備の陳腐化が進んでおり，利用者等の要望に応えられていない点もあることから，緊急性や優先度を考慮しながら，随時，改修・維持補修を行う必要がある。		

評価	△	進捗		成果		課題	
			予定どおり		成果が十分		課題はない（ほとんどない）
			概ね予定どおり	✔	成果が一定程度		課題は小さい
		✔	やや遅れ		成果が不十分	✔	課題はやや大きい
			遅れ		成果が見られない		課題は大きい

今年度の状況	継続	各施設において必要な改修・維持補修を行い，安全・安心な施設とするほか，利用者にとって利用しやすい環境を確保するよう努める。